

こすど 公民館 報

小須戸町公民館 発行所
間野 良知 発行人
毎月15日 発行日
1部15円 印刷部
昭栄堂 印刷所

第三日曜日は
家庭の日
一家で楽しく



元気で一年がんばろう

(元旦マラソンスタート)

町民の皆さん。
新年おめでとございます。
昨年中は皆さんの多大なご協力とご支援によりまして、私どもの進むべき道を一段と前進させることができましたこと、深くお礼を申し上げます。今年も更に一段の飛躍を期したいと思いますので、どうぞ



年のはじめに あたって

公民館長 間野 良知

推進したいものであります。行政と一体化した郷土振興、それが社会教育の最も大きな使命であり、その中心となる公民館の責任は誠に大きいものがあります。
長寿大学、スポーツ振興、「花とみどりの町」に即した園芸振興、青少年並びに婦人教育、町民運動会、文化祭、その他年中行事等々、関係諸団体のお力で一応軌道に乗ってまいりましたが、今後は更にその内容を充実し、その進歩を期したいものであります。
そのためには人(役員)・施設(金)・予算の三足がともなわなければならぬのであります。それが充実についても当局が十分考慮にたつておこなうことは、たゞ思っております。

世情あつたたい昨日今社会教育の重要性がますますクローズアップされてまいりました。
住民の生涯を目的として、老若若きも共に学び、励み、努め、そして親しみ力を合わせてどんな困難も克服し、明るい住みよい町づくり運動を

五十嵐町長年頭のごあいさつ(町だより)にも町の四大基本方針の中に「社会教育の振興」を取り上げ、「公民館を新築して、社会教育の拠点とする」と共に、行政と一致した運営を図ります」とあります。
重ねて申し上げます。どうぞ本年もよろしくお祈り申し上げます。

明けまして おめでとうございませう 今年もどうぞよろしく

- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 町長 | 五十嵐 雄 | 警察所長 | 北島 正二 |
| 助役 | 榎田 宗賢 | 郵便局長 | 塩田 正二 |
| 収入役 | 上田 友男 | 小須戸 課長 | 佐藤 正二 |
| 議長 | 高山 三治 | 矢代田 課長 | 保科 栄 |
| 副議長 | 松尾 健一 | 電話局長 | 山田 久正 |
| 他議員一同 | | 電報局長 | 菅原 末次 |
| 教育委員長 | 岡田 六衛 | 商工会長 | 梅津 英五郎 |
| 委員 | 川瀬 弘一 | 農協組合長 | 岡田 六衛 |
| 高橋 孝止 | | 連合青年団長 | 佐藤 克雄 |
| 保科 栄 | | 連合婦人会長 | 松沢 キヨ |
| 教育長 | 岡田 寅男 | 連合会長 | 村山 祐一 |
| 社教委長 | 楠原 真次 | 体協会長 | 渡辺 欣二 |

思い出の物語

(書 坂井清風)

- | | | | |
|------|-------|--------|-----------|
| 中学校長 | 中野 泰男 | 東京小須戸会 | 会長 佐々木 詞郎 |
| 小須戸小 | 山名 正平 | 副会長 | 伊藤 広次 |
| 矢代田小 | 高橋 哲也 | 事務局長 | 和泉 芳郎 |
| 高校主任 | 桜井 猛 | | |
| 消防団長 | 藤須 照七 | | |

新郷の木伏さんより
公民館の皆様、明けましておめでとございませう。毎月町報ご送付くださる厚くお礼を申し上げます。

うれしい賀状
小生六十一才にて子どもは全部かたすぎ、現在おちばばだけですからお喜びますが、いつも町報を楽しみにしております

晴れた元旦
元気にはしる
第二回元旦マラソン
スポーツを通して、健康にして明るい町づくりをすすめている、町は、昨年に引き続き、今年も主催体育協会の後援教育委員会、公民館で、第二回元旦マラソン大会が開かれた。
昨年とはちがいが、さむさを思わせる、元旦だったが、出発の十時三十分には晴れあがり、役場前には集まった選手約五十数名で、五十嵐町長の発令台詞と共にスタート、この間約三分、第一位の選手がゴールした。

他 会員一同
特別会員衆議院議員 米田 東吾
新郷小須戸会 会長 田中賢太郎
事務局長 加藤 一郎
公民館長 間野 良知
副館長 木村 敬三郎
小須戸分館長 佐藤 正雄
矢代田分館長 高山 三治
新保分館長 川瀬 弘一
横水分館長 木村 敬三郎
他本館分館役員一同 (順不同)

長寿大学
学習案内
一月と二月前半の学習予定は次の通り。場所は老人憩の家。午後一時半より。(但し書道クラブは会場公民館)
一月 六日民舞クラブ
一月 一五日囲碁将棋クラブ
一月 一六日書道クラブ
一月 二二日家庭科クラブ
一月 二八日書道クラブ
一月 二九日運営委員会
一月 未定 民舞クラブ
二月 一三日家庭科クラブ
各クラブの部長副部長は次の通り(印刷長(印刷) 岡田 渡辺 欣二)

奇特の話
高司兵部一件(一)
柏 大治
昭和十七年頃と推定する(白井村)白根市西の奉行所の役人、小須戸北町名奉行、遠山左衛門が事件をとりあつかったという何冊かの記録をもつてこられたという、珍本を興味深く読んだことがある。
西山俊夫氏所蔵の「嘉永四年九月十一日」本多中務大補様御掛り、小須戸町一件御裁許写し、は近頃テレビにて遠山の金さん一件落着と簡単に「さんか」を切る裁許と一寸違う。内容の枚数はわずかに十四枚であるが一枚目に「差上申一札之事、頼村修理権大夫様御家来高司兵部殿不届の取引候し候一件御裁許を御裁許候、とあり、一審判決でなく、いまだにうならば最高裁の判決に於ける。本多中務大補修理権大夫といひ、正五位以上の高司兵部の名で、中務は官中の八部省の上位の役所になる。

優位 鶴巻 又一
四位 近藤 秋弘
三位 田中 正志
二位 佐藤 元彦
一位 高田 元彦
五十嵐 元彦
二十才代の部
優位 長次 博英
二位 大貫 角夫
三位 小柳 正三
四位 加藤 勝雄
五位 武田 光衛
六位 横山 勝英
小学生の部
優位 家塚 俊晴
二位 土田 茂
三位 田村 健嗣
四位 渡辺 修
五位 田村 直子
女子の部
優位 田村 直子

昭和十七年頃と推定する(白井村)白根市西の奉行所の役人、小須戸北町名奉行、遠山左衛門が事件をとりあつかったという何冊かの記録をもつてこられたという、珍本を興味深く読んだことがある。
西山俊夫氏所蔵の「嘉永四年九月十一日」本多中務大補様御掛り、小須戸町一件御裁許写し、は近頃テレビにて遠山の金さん一件落着と簡単に「さんか」を切る裁許と一寸違う。内容の枚数はわずかに十四枚であるが一枚目に「差上申一札之事、頼村修理権大夫様御家来高司兵部殿不届の取引候し候一件御裁許を御裁許候、とあり、一審判決でなく、いまだにうならば最高裁の判決に於ける。本多中務大補修理権大夫といひ、正五位以上の高司兵部の名で、中務は官中の八部省の上位の役所になる。

当時としては小須戸町の大事業であろう、そのおこりは小須戸組小屋場戸組は新発田十方、溝口主膳正領分、高司兵部は新津村百姓三郎の弟だ、京家の家来、新津村は幕府直領桑、藩、新津村守の御預所、この三姓出身の高司兵部が、身家に召抱えられたのは、植村権大夫の才筋が中山大納言であるというから、しかも主家の代参であろう。しかも主家の代参で珍本へ額を奉納する途中の事件である。事件の内容は、ばかばかしいことだが、関係者はそれぞれ迷惑している、小須戸組屋吉岡名兵衛、西山氏の先祖百姓、惣代武兵衛、新発田藩の役人なども叱りを受けている。新津の村屋も表面には、顔をださないが、嘉永日言には、この事件は各組更替に協議にしておらうと、いふなど、小須戸町一件御裁許が、ついに件数がかかっていた。本文を解説して次に真相を述べる。

文字通りの 家門繁栄子孫長久

三夫婦揃って迎春の中野さん



中野さんご一家

静かに余生を楽しんでおられる幸せな境涯である。長男一雄さんといつても、実質的には当主であるが、年令からいっても油ののりきつた働き盛りというところである。衆望をなして町会議員は二期当選、現在は総文委員長としての重要な次第である。

歳末助け合い托鉢に

ご協力御礼

仏教会長 五十嵐義広

めぐまれない方々のために、あたたいお正月をのねがいから実施してまいりました。おかげさまで無事円成させていただきました。皆さまのお心も、皆さまでのお心も、たすけました。本年歳末には必ず参上いたします。どうぞよろしくお願いたします。なお新保の高山重太郎さん、厚い信心から托鉢行に特別参加されてご奉仕されたこと、心から感謝いたします。十二月三日(町部)は

次に中食のご供養をたまりました左記施主さま並びにご協力の方々にも厚くお礼を申し上げます。中食施主さま
・中食施主さま
・小須戸 田沢俊治殿
・小須戸 高橋又一郎殿
・小須戸 押見久一郎殿
・板谷恒司殿

やめよう酔っぱらい運転

小須戸町のみならず、町外へも出かけておられる方が、つぎのようにならなう理由をあげておられます。飲酒運転は自覚が第一です。飲酒運転で取締りを受けたら、事故を起した人のはたき、つぎのようにならなう理由をあげておられます。飲酒には強い体質だ。飲んだ量は少ない。飲んでから時間がたつてから運転する。車を置いて帰ると明日困る。今までの事故を起したり警察につかまったりしたことがない。自分だけは大丈夫です。飲酒運転をなくするには、家族事業所等の屋主などの協力も必要です。車を運転する人は、酒をやめてください。友、遠方より来たる。まあ、イッパイが事故のもと。今年こそは事故のない小須戸町にしましょう。小須戸幹部派出所

なごき 道路 今昔

ある通勤者の歌える歌
皆様目覚めやないけれど
日本の道路は世界一
とは申しても悪い方
おいらが町の大幹線
矢代田小須戸の県道も
日本の道の名に恥ぢぬ
日ましにふえる交通量
バスにトラック三輪車
バイクにスクーター
オートバイ
自転車までも加えたら
一日恐らく何千台
かわいそうなのは学校へ
通う小さな子どもたち

電話局から お願い

電話線の引込口は引込
住に最も近い所を選び、
屋内配管は将来の計画を
もとに台数、機種、設置
場所等に合わせ、必要
とする部屋ごとに行な
ってください。また、ホ
ムテレホン等新しい電
機を取付ける場合は、特
殊配管が必要ですから、
詳細はTEL二六〇〇に
ご相談願います。
(小須戸電報電話局)

お早め
お電話の移転工事等は
お早め
お電話の移転工事等は
お早め

忘年句会

小須戸町俳句同好会
一人旅思出も無くて師走かな
つぎ／＼に竹林動きて雪払ふ
寅に蓋といはらわれて雪しまり
短日の雑踏クラクション詰まる
どか雪や棚上重し尺五寸
熱燗で断絶のなき父子かな
宰相の声色も出 年忘れ
年忘れ末座にありて酒強し
行く年の名残を胸に一句詠み
おくれ来て立ち益や年忘れ
家で待つ家内を思い気もそぞろ

流水 香月 太浪 櫻男 四山 静花 良遊 虚秋 秋蘭 芳人 白井

新春 出雲町 我妻 清作

新玉の神鎮まりぬ産土の諏訪の神に
拍手をうつ
元日の寿詞うけつつ自ら心裏直に
あらたまりゆく
常日頃なれし古き町並も心清しく
歩む元日

糖尿病の 勉強会

最近ますますふえてい
る成人病のひとつに糖尿
病があります。この病は
は自覚症状がありません
ため自分では気が付き
にく、また、なかなか治
りにくいのでその治療
が重要です。この糖尿
病についての勉強会を
計画いたしました。現在
糖尿病の治療を受けて
いる方、家族に糖尿病
かたがいらっしゃる方、
または糖尿病に興味あ
る方はぜひご参加くだ
さい。
日時 一月二十九日

購入図書

- 朝やけの詩 熊井明子
- 雪舞 渡辺淳一
- 幽霊屋敷 佐野洋
- 浅妻舟 大仏次郎
- 青春の門 放浪篇 上 五木寛之
- ぐうたら忘談 遺藤周作
- 死者を答打て 鮎川哲也
- けったいな人びと 茂木草介
- かくし芸百科 稲垣正史
- 室内ゲーム・遊び 稲垣正史
- 愛の倫理 瀬戸内晴美
- 赤い影法師 南園都狼
- 越のほそ道 柴田鎮三郎
- 朝日新聞新潟支局 朝日新聞新潟支局
- ゆりかごの詩 TBSラジオ

矢部藤三郎さんの逝去を悼む

矢部さんは公民館の前
身、文化協会時代からの
同志であり指導者であり
町社会教育の振興の途に
おける偉大な存在であり
ました。特に広報活動には過去
の専門的経験をもって、
館報発行以来十余年にわ
たりその責任者として業
績をあげられた、いわば
生みの親であり育ての親
でありました。去る十二
月二十九日、七

横川の佐之助さん。
三代三夫婦健在で新年
を迎えられた、おめでた
いご一家である。
黒光りのする大きな梁
柱がいかに古い家柄の
しのばれるとどろりした
お宅である。
祖先は山の手から移住
された開拓者の一人で、
現在でも「佐之助堀」な
どという地名も残ってい
る。
また、弘法大師の伝説
につながる父祖伝承のお
たから様も家宝として
保存されている。火よけ
のご霊験があったかた、
過去数回にわたり大事を
防いだご利益をいただいた
たともいわれる。
農業一すじのご一家で
あるが、曾祖父の貞蔵と
いう方が町会議員として
活躍された記録も残って
いる。
現在は
当主 佐一郎さん 八五才
イトさん 八一才
長男 一雄さん 五三才



矢部藤三郎さんの逝去を悼む

町創る気概をペンにこぼせし
古き館報の論説を読む
編集のスタッフ率い年に一度
慰労旅に出でし君はも
問野 良知